

いっしょに読もう！新聞コンクール

川井さん(1清心中)最優秀賞

岡山から初

日本新聞協会は26日、家族や友人と新聞記事を読んでまとめた感想や意見を募った第6回「いっしょに読もう！新聞コンクール」の最優秀賞に清心中(倉敷市二子)1年川井里紗さん(12)ら3人を選んだと発表した。岡山県の児童生徒が同賞に輝くのは初めて。



川井里紗さん

川井さんの題材は、懸賞論文で最優秀賞となり、7月27日付本紙朝刊に掲載された、おかやま山陽高1年ビラン・アンドレ君(16)の「感謝の心で」。フィリピンで生後間もなく実母と離れ、日本の養母に引き取られたビラン君の生い立ちを紹介するとともに、過酷な運命にも負けずに成長し、支えてくれる周囲の人に感謝する姿勢に感銘を受けたと記した。

父・敬司さん(51)の助言もあって、将来は国連児童基金(ユニセフ)などで恵まれない子どもの国際的な支援に携わりたいとつづり、審査で「新聞が2人の若者をつなぎ、アクテ

イブな行動へと進むことができた」と高く評価された。

川井さんは「最優秀賞の知らせを聞いた時は驚いた。新聞でビラン君の論文と出会ったことで明確な将来の目標ができた」。ビラン君も「同世代の人が自分の気持ちを分かってくれたことが本当にうれしい」と話している。

今年のコンクールには全国の小、中、高、高専生から過去最多の計3万9881点の応募があった。他の最優秀賞は沖縄県北中城村立北中城小6年、瀬底蘭さん(12)と西南女学院高校(北九州市小倉北区)1年中野望愛さん(16)。

岡山、広島、香川県からは、川井さんのほかに優秀賞に岡山南高3年渡部真子さん、優秀学校賞に清心中学・女子高、学校奨励賞に

高松市立庵治小、奨励賞に5人が選ばれた。表彰式は12月12日、日本プレスセンター(東京)である。

奨励賞受賞者は次の皆さん。(関係分、敬称略)

大久保果澄(広島大付属小2年) 真鍋香織(善通寺市立吉原小5年) 村川羽叶(清心中1年) 前田萌絵(同3年) 浅野菜乃佳(清心女子高1年)

(松島健)